



しち ふく じん おどり  
「七福神踊」5年ぶりに津島神社へ奉納(10月7日秋まつり)

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

## お知らせ.....

現在、市では公共施設をそのまま全て改修・更新していくことが困難になり、統廃合・受益者負担のあり方を見直し、再構築に向け検討しています。

今後、議会としては、これを注視し、市民のみなさんの意見を反映し、積極的に取り組んでまいります。

## もくじ.....

議決結果 .....	2
議案に対する賛否一覧 .....	2
議会レポート .....	3
委員会レポート .....	4
一般質問 .....	8
第4回定例会の予定 .....	14

# ◎平成24年第3回津島市議会定例会 議決結果

- ★議案第64号 津島市防災会議条例の一部改正……………全員で可決
- ★議案第65号 津島市災害対策本部条例の一部改正……………全員で可決
- ★議案第66号 津島市高齢者福祉施設条例の一部改正……………多数で可決
- ★議案第67号 津島市市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正……………多数で可決
- ★議案第68号 津島市遺児手当支給条例の一部改正……………全員で可決
- ★議案第69号 津島市市立津島幼稚園保育料の減免に関する条例の一部改正……………全員で可決
- ★議案第70号 平成24年度津島市一般会計補正予算(第2号)……………全員で可決
- ★議案第71号 平成24年度津島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)……………全員で可決
- ★議案第72号 平成24年度津島市介護保険特別会計補正予算(第1号)……………全員で可決
- ★議案第73号 平成24年度津島市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)……………多数で可決
- ★議案第74号 平成24年度津島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)……………全員で可決
- ★議案第75号 平成24年度津島市民病院事業会計補正予算(第1号)……………全員で可決
- ★議案第76号 平成24年度津島市下水道事業会計補正予算(第1号)……………全員で可決
- ★議案第77号 平成23年度津島市上水道事業会計未処分利益剰余金の処分……………全員で可決
- ★議案第78号 平成24年度津島市一般会計補正予算(第3号)……………多数で可決
- ★議案第79号 アイプラザ津島改修工事請負契約の変更契約の締結……………多数で可決
- ★議案第80号 訴えの提起……………多数で可決
- ★議案第81号 平成24年度津島市一般会計補正予算(第4号)……………全員で可決
- ★議案第82号 津島市教育委員会委員の選任……………全員で同意
- ★議員提出議案第4号 愛知県の福祉医療制度の存続・拡充に関する意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第5号 定数改善計画の早期実施と義務教育費  
国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第6号 自治体における防災・減災のための事業に対する  
国の財政支援を求める意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第7号 伊藤文郎市長に対する問責決議……………少数で否決
- ★議員提出議案第8号 子ども医療費無料制度の早期改善を求める決議……………全員で可決
- ★請願第5号 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願……………少数で不採択
- ★請願第6号 「教育費無償化」の前進をもとめる請願……………少数で不採択
- ★請願第7号 福祉医療制度を守り、拡充を求める請願……………全員で採択

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載します。

## 平成24年第3回定例会 【議案に対する賛否】 賛成:○ 反対:×

議案番号	件名	改革クラブ				新市民クラブ			青風会			共産党議員団		新生クラブ		公明党つしま		無党派		
		東国伸	津田秀幸	後藤敏夫	日比一昭	加藤則之	日比野郁郎	長尾日出男	加藤哲司	大鹿一八	上野聡久	山田真功	杉山良介	伊藤恵子	垣見信夫	西山良夫	本田雅英	森口達也	宇藤久子	井桁亮
66	津島市高齢者福祉施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	×	×
67	津島市市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	×
73	平成24年度津島市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	○
78	平成24年度津島市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○
79	アイプラザ津島改修工事請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○
80	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○
議員提出7	伊藤文郎市長に対する問責決議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	○	○	○
請願5	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	—	×	×	○	○
請願6	「教育費無償化」の前進をもとめる請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	—	×	×	○	○

※議長は採決に加わっておりません。

※議案第64・65・68～72・74～77・81・82号、議員提出議案第4～6・8号の各議案及び請願第7号は、全会一致で可決・採択されましたので、記載を省略しています。



### 第3回定例会

9月3日から27日まで開催され、10日と11日の2日間、12人の議員による一般質問が行われました。

議案18件、人事案件1件、議員提出議案4件が可決・同意され、請願1件が採択されました。

また、議員提出議案1件が否決され、請願2件は、不採択となりました。

#### 議案に対する討論

##### 議案第66号 高齢者福祉施設条例の一部改正

###### 《反対討論》

否決された議案が何ら改善もなく再提出され、不誠実だと言わざるを得ない。市が責任をもつて事業展開することが、介護保険制度に責任を果たす上で重要

12月議会で否決された同じ内容の議案。市長は、議会を無視して「ディサービス」を休止させ、利用者と雇用の「ミニ

ニティを破壊した。誰がこんな津島市に住んでみたくなるのか。

###### 《賛成討論》

ディサービス事業廃止には、充分な説明と丁寧な手順が重要である。事業が廃止された今は一刻も早く、有効利用を具体化し、新たな福祉施策等につなげてもらいたい。

このまま条例改正がなされなければ、今後の行政の責任放棄につながりかねない。改正後の施策については、明確なテーマと方向性を確立することをもって賛成する。

##### 議案第67号 市立保育所の設置及び管理 に関する条例の一部改正

###### 《反対討論》

保育のコスト削減は、少子化対策・子育て支援と全く逆行している。公的責任を放棄する神島田保育園の民間移譲に反対

市は圧倒的に公立保育園が少ないのに、3園から2園にする。財政計画の名の下にコストカットし、市長だけが喜ぶ施策で、我々子育て世代からは、責任放棄に感じる。歯止めをかけるために反対

###### 《賛成討論》

運営の効率化とともに子育て支援の

一環として「病児・病後児保育」事業は新たな保育ニーズに対応するためのものであり、サービス拡充の目的の合理性をもって賛成する。

##### 議案第70号 一般会計補正予算(第2号)

###### 《賛成討論》

3月議会での一般会計補正予算に引き続き残りの小学校3校、中学校2校のトイレを今年度末までに改修するもの。大切な児童・生徒の健康を守るための施策で一日も早い改修を希望する。

##### 議案第73号 流域関連公共下水道事業 特別会計補正予算(第1号)

###### 《反対討論》

南海トラフなど巨大地震が想定される中、大型で広域の計画は妥当か疑問。接続率の進み方によっては、将来的に大きなつげを回す事業には反対。

##### 議案78号 一般会計補正予算(第3号)

###### 《賛成討論》

市民の税金を使って、工事をしてだまされて次は、市民の税金を助成金として支払う。市長には十分に反省をした上で、責任を取るように強く要望してこの予算に賛成する。

斎場の使用停止で火葬を他の自治体にお願いくることになった。その場合に市民に新たな経済的負担を生じさせないための助成金の予算が計上されている。

##### 議案第79号 アイプラザ津島改修工事 請負契約の変更契約の締結

###### 《賛成討論》

約1億円の入札残高によるもので、改修工事が年度末までに完了することを期待する。「健康増進拠点」として、市民が健康で生き生きと安心して運動できるグラウンド等の整備が大変重要

##### 議員提出議案第7号 伊藤文郎市長に対する問責決議

###### 提案理由

伊藤文郎市長に対し、自身の公約違反並びに議会で全会一致により採択された、子ども医療費の無料化を小学校卒業まで求める趣旨の請願を無視したことについて、深く反省を求めるため。

###### 《反対討論》

子ども医療費助成制度は子育て施策に必要と思う。市長は所得制限付きではあるが、高校卒業までの医療費無料化拡大を行っているので反対

《反対討論》

公約違反との理由であるが、現状の制度は所得制限があるものの、以前と比較すれば子ども医療費の無料化拡大になったので公約違反には当たらない。

「子ども医療費無料化の拡大」の請願を無視してとのことであるが、課題は、他にも山積しており、「住んでみたくなるまち津島」を目指すべきと考え、反対

《賛成討論》

市長は公約を実行していない。子ども医療費無料化を「小学校卒業まで」拡大する請願に全会一致で採択されたのに実行されていない。一日も早く「小学校卒業まで」拡大するよう強く要望して賛成

私たちが問責を出したのではなく、市長が問責を出させた。子育て世代・若い世代の代表からすれば、「子ども医療費無料化の拡大」を行わない市長には問責決議案の提出ぐらいは当然のこと。

議員提出議案8号  
子ども医療費無料制度の  
早期改善を求める決議

《賛成討論》

子ども医療費無料制度を近隣の自治体並みにというのは、子育て世代の

切実な願いであり、議会も小学校卒業まで所得制限なしの実施を求める請願を全会一致で採択している。決議は意義がある。

これが本当の問責決議になる。全会一致で、議員全員で賛成をして市長をみんなで追い込み、一日でも早く、子ども医療費の無料化を、まずは「小学校卒業まで」実現させたい。

請願第5号  
「ゆきとごいた教育」の  
前進をもとめる請願

《賛成討論》

財政力による教育の地域格差が広がっている。国が責任をもって教育予算を増やし、教育の機会均等を保障すべきという趣旨に賛成

請願第6号  
「教育費無償化」の  
前進をもとめる請願

《反対討論》

請願内容は、授業料のほかに通学関係費や入学金、PTA会費や修学旅行費まで全て無償にするというもの。そこまで無償枠を拡大すべきか疑問が残る反対

《賛成討論》

依然として授業料以外の負担が重

く、また公私格差が広がっている。公立高校無償化制度等をさらに前進させるべきという趣旨に賛成

請願第7号  
福祉医療制度を守り、拡充を  
求める請願

《賛成討論》

福祉医療費無料制度は、県と市が2分の1ずつ負担している。県が縮小すれば、市の負担、あるいは市民の負担が増え、福祉医療が大きく後退することとなる。県制度の維持・拡大を求めるべき。

厚生病院委員会レポート

議案第66号  
高齢者福祉施設条例の  
一部改正

Q 市デイサービスセンターで働いていた15名のうち、ほかの施設ですでに働いている7名を除き8名の方がハローワークに通っているが、雇用保険の受給状況は。

A 8名のうち2名が9月末で受給終了になる。相談にも応じて最後まで対応する。

Q 市デイサービスを利用していた54名の現状は。

A 43名が他のデイサービスを利用、8名が居宅サービスを利用したり施設に入所、1名がサービス未利用、1名が市外に転出、1名が死亡

Q この条例案が可決された場合の施設の利用方法は。

A 健康福祉部内では、子育て支援センター、障がい者福祉施設、高齢者介護予防事業の拠点等の利用案がでている。

議案第67号  
市立保育所の設置及び管理に  
関する条例の一部改正

Q 民間移譲の条件と引き継ぐ内容は。

A 今までの保育に加えて、病児・病後児保育を行っていた。

Q 移譲先がきちんと対応できているかを確認しながら進めては。

A 病児・病後児保育をどのように行ったらよいか、市も一緒になって考え、良い方法をみつけていきたい。

Q 神島田保育園の経費は。

A 平成24年度決算では、人件費、物件費合わせて8087万8000円ほど経費がかかっている。

Q 民間移譲したときの経費削減額は。

A 4400万円ほどになる。今いる保育士を解雇しないので、保育士の定年退職等に伴って、段階的にこの額になる。

Q 公立保育園は3園あるが、なぜ神島田保育園を民間移譲するのか。

A 病児・病後児保育を行うための専用室を確保できるのは、神島田保育園だけであるため。

### 議案第71号

### 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

Q 口座振替を促進するためのシステムを導入することだが、その効果は。

A 口座振替の申し込みが市の窓口で簡単にできるようになる。水曜日の夜は午後5時以降も窓口で申し込みができるため、相当な数の申し込みをしていただくと予測している。

### 議案第75号

### 市民病院事業会計補正予算(第1号)

Q 看護師奨学資金貸付金について、返還されなかった事例はあるか。

A 事例はない。全額返還されている。

請願1件及び陳情3件を採択

### 厚生病院委員会視察報告

厚生病院委員会は去る7月12日、13日の2日間にわたり広島県呉市及び廿日市市へ行政調査視察を行いました。調査事項は、呉市が糖尿病性腎症重症化予防事業及びジェネリック医薬品使用促進サービスについて、廿日市市が地域自立支援ネットワークについてです。

### 糖尿病性腎症重症化予防事業 増え続ける医療費を抑制

呉市は、平成19年に人口15万人以上の全国の中で高齢化率は全国第1位、国民健康保険の一人当たりの年間医療費は59万5000円で全国平均、県平均を大きく上回る状況でした。

一人当たりの年間の糖尿病治療費は、一般的に、初期の治療の場合5万円から30万円、インシュリン治療の場合約60万円、透析治療の場合500万円以上かかると言われており、増え続ける医療費を抑制し、国民健康保険会計の財政負担の軽減を図る対策として、平成20年に、レセプトを電子データ化。22年度から、広島大学に委託して研究した予防プログラムを活用し、糖尿病性腎症重症化予防事業を開始しました。

この事業が目指すのは、患者が自分で病気をコントロールできるようにすること、家族の生活の質の向上、医療費の抑制です。

### ジェネリック医薬品使用促進 サービスで8000万円削減

一人当たりの国民健康保険の年間医療費が非常に多いことから、医療費負担の軽減と国保財政の健全化を図るため、平成20年7月から国民健康保険加入者に「ジェネリック医薬品使用促進サービス」を実施しました。

レセプトから重複診療、頻回受診、重複投薬をチェックし、保健師、看護師が訪問指導を行うことにより患者自身の医療費の負担減につながりました。

医療費が高額となっている30000人に対しジェネリック医薬品の単価差額を通知し使用促進を図り、平成22年度の医薬品費の削減効果額が8000万円となりました。

### 地域自立支援ネットワークについて 地域の生活の場づくりを目指して

障がい者自立支援法に位置づけられた相談支援事業を受託している複数の事業所が1か所に集まり、平成21年6月、廿日市市総合保健センターあいプラザ内3階に障がい福祉センター「きらりあ」が誕生しました。

現在、「地域支援事業あおぞら」「地

域相談支援センターくれよん」「さくら相談支援事業所」の3事業所のスタッフ7人が身体、精神、知的、発達障がいの相談にあたり、各相談事業所に支払っている委託料は、合わせて2200万円のことです。

市の面積が490km<sup>2</sup>と広いこともあり、サービス提供事業所は多くの福祉法人、医療法人が65事業所を運営。地域生活支援締結事業所は39か所あり、さまざまな支援がされています。

現在、新しく「地域の生活の場づくり」を課題として「ケアホームづくりプロジェクト」が発足し、独自に地域の「空き家」等を利用した知的障がい者の居場所づくりを目指しているとのこと。相談事業は年々増えており、職員の増員、拠点の拡大が課題であるとのこと。



▲廿日市市役所にて

文教建設委員会レポート

**議案第69号**  
市立津島幼稚園保育料の  
減免に関する条例の一部改正

Q 条例改正するとどのようなになるか。

A 受給対象者は10人増えて16人となり、事業費は24万4000円になる。

**議案第70号**  
一般会計補正予算(第2号)

Q 農地の耕作実態調査と、有害鳥獣等の被害状況調査の基礎資料をどう活用するのか。

A 農地の耕作実態調査については、無断転用や遊休農地の把握、指導、是正等に努め、有害鳥獣等の被害状況調査は、檻の貸し出しPRや市が捕獲に対応するための参考資料にする。

**議案第73号**  
流域関連公共下水道事業特別  
会計補正予算(第1号)

Q 下水道接続促進補助金758万円の内容は。

A 当初予算では121件の補助を見込んでいたが、期間内に接続した方が

予想よりも多かつたため、178件追加した。平成24年度分として299件を見込んでいる。

**議案第77号**  
下水道事業会計未処分利益  
剰余金の処分

Q 平成23年度の剰余金額が1億円を超えた理由は何か。

A 給水収益は前年度比で大きな増減はないが、主に修繕費が削減出来たため。

**議案第78号**  
一般会計補正予算(第3号)

Q 黒煙等が解消できない排煙処理装置を設置した業者に対し、工事代金の返還請求をするのか。

A 業者からの回答は、誠意あるものではなく、今議会の最終日に、訴えの提起を提案したい。

Q 斎場ボーリング調査委託料270万円の内容は。

A 黒煙等が解消できる新たな装置を設置する予定の調査で、新装置は相当な重量が考えられるため、土質調査なども含めてしっかりとした調査をするもの。

Q 工事請負費1176万円を減額した理由は。

A 斎場の火葬炉1基と、動物炉の改修工事を予定していたが、今後の改修計画が未定であり、工事の執行を見送るため。

請願2件は不採択。陳情1件を採択

文教建設委員会視察報告

文教建設委員会は、去る8月1日、2日の2日間、栃木県鹿沼市と千葉県成田市へ行政調査視察を行いました。

調査事項は、鹿沼市が、まちの駅「新・鹿沼宿」整備事業について、成田市は、表参道整備事業についてです。

まちの駅「新・鹿沼宿」整備事業  
「まちの駅」でまちおこし

まちの駅とは、市民や観光客が気軽に立ち寄り、地域の情報などを得られる交流の場で、「おもてなしの心をもつ人」がいて、誰もが借りられる「トイレ」と休憩の場、「地域の情報」があり、「共通の看板」を掲げれば、どこでもまちの駅になれるというものです。

鹿沼市では、これまでに1-1のまちの駅が認定され、平成23年に完成した、道の駅のような大型駐車場や、自称日本一きれいなトイレや観光案内施設を備えた、公設民営の「新・鹿沼宿」を中

心にして、本年6月21日現在で90のまちの駅が設置されています。

この事業の経過は、平成3年にショッピングセンター「ジャスコ」が撤退し、建物と跡地がそのままにされ、商店街も衰退して市民の買い物にも支障が出ていたことから、平成13年にその周辺地域を新たな観光交流拠点とする計画が立てられました。

翌14年から用地取得を開始、まちの駅「新・鹿沼宿」の実設計に入りましたが、新たな市長の方針によって、計画の見直しが決まされ、平成22年度に新たな実施設計をもとに運営検討会を設置して、平成23年4月29日にまちの駅「新・鹿沼宿」がオープンしました。

本年7月までに約77万人の来場者、3億5200万円の売り上げで、予想以上に好調な滑り出しのことです。



▲まちの駅「新・鹿沼宿」にて

「まちの駅・新鹿沼宿」は、鹿沼市の中心市街地全体が、市内外の人々の交流の場となり、施設や商店などを楽しみながら回遊できる市内回遊ルート上の拠点として位置付

けられています。  
また、日光や、宇都宮市との中間に位置することから、旧日光街道の宿場町と広域連携して、イベントの実施等を行うことにより、広域の活性化も目指しているとのことでした。

### 表参道整備事業 行政と住民が一体となった街づくり

表参道は、成田駅から成田山新勝寺までの約1kmにわたり、花崎町、上町、仲町の3地区からなり、古くから門前町として栄えてきました。しかし、近年郊外の大型ショッピングセンターへ買い物客が流れるとともに、表参道商店街を通る車が増え、歩行者の安全が脅かされるようになりました。この状況を改善するため、平成8年度より整備事業が始まりました。

上町と花崎町は平成8年からセットバック(建物を後ろに移動させること)と歩道整備に主眼が置かれ、仲町については伝統的建築物等修景事業が行われました。

平成12年から15年にかけては、3地区全体の無電柱化が実施され、片側2mずつセットバックする事業の進捗により、歩行者が安心して通行できる商店街に姿を変えつつあります。商店街のセットバック化の進捗率は平成23年末で約67%です。

セットバックに併せて、建て直される商店の建物の景観整備も図られ、魅力

ある街並みを生み出しており、現在は平成25年までの2期事業が展開されています。

この表参道整備事業は、街づくり協議会4団体との協働事業により実施され、4団体の自主的な街づくりのために、市が活動費の一部を助成し、建物のセットバック化についても、行政ではなく、街づくり団体が前面に立って交渉にあたるなど、行政と住民が一体となった街づくりが展開されていました。



▲表参道にて

鹿沼市は、まちの駅「新・鹿沼宿」を拠点とした「まちの駅」による観光と交流の街づくりを目指し、成田市の表参道は、成田山の参拝客を呼び込む魅力ある商店街を目指しており、津島神社の門前町として発展してきた当市の商店街の活性化や、観光資源を活かすための施策として、大変参考となる事業でした。

## 総務協働委員会レポート

### 議案第64号

#### 防災会議条例の一部改正

Q 一部改正の目的と委員の選出についてどの様に考えているか。

A 防災会議に新しく自主防災組織の構成員又は学識経験者を委員として加え、重要事項を審議する。市全体を公平・公正に見ることができ、かつ高い防災意識を持った人を考えている。

委員は現在25名であるが、将来的には自主防災組織の代表者、大学の研究者NPO、女性、高齢者、障がい者団体の代表にも加わっていただきたい。

### 議案第70号

#### 一般会計補正予算(第2号)

Q 文化会館の修繕料141万円程は何の修繕か。

A 避雷設備が破損し、構造上の問題もあり、抜本的に修繕する。

Q ふるさとつしま応援基金の堀田・氷室家管理事業は何に使うのか。

A 堀田家の消防ポンプの修繕に使う。

Q 緊急雇用創出事業で、交通事故、犯罪防止パトロールを業務委託しようとするが、その内容は、

しているが、その内容は。

A 今年度11月15日から2月15日まで3か月の予定で、昼間、夜間各6名、計12名を雇用し、市内をパトロールする。犯罪行為等を発見した時は速やかに警察に通報し、犯罪を未然に防ぐ効果を期待する。

Q 東日本大震災の緊急消防援助隊活動に対する国の負担金として343万円程計上してあるが、その内容は。

A 国が経費を全額負担するもので、震災直後、消防本部から延べ1000人、17日間活動した費用である。

## 総務協働委員会 行政視察報告

総務協働委員会は、去る7月18日、19日の2日間、兵庫県の宝塚市、三田市、淡路市及び広島県の尾道市へ2班に分かれて行政視察を行いました。

## 市民主導で行政へ政策提言

宝塚市の協働のまちづくりへの取り組みは早く、平成4年に女性の社会参画、政策提言力を高めようと「女性ポード」を創設し、多くの市民活動家を輩出してきたことが、現在のまちづくりの土台を築いているというところであります。自治会とまちづくり協議会が「円卓会議」を開催し、各地域の基盤強化を図っています。地域に根差した活動

こそが市民協働の基本となる大きな力であり、その力を発揮していただくことが最も重要だと学びました。

行政と市民が情報を共有

市民協働への取り組みは、行政から一方的に支援をするのではなく、行政と市民が対等なまちづくりパートナーであること。目的を共有しながら信頼関係を強め、連携と協力により市民活動の自主性、自発性、自立性を尊重することを基本とし、市民への積極的参加を促しています。

拠点「まちづくり協働センター」

住民相互の交流促進地となっているのが、「市民活動推進プラザ」です。パソコン・コピー機なども安価で利用できる。駅前の一等地ということで多くの市民が利用しています。気軽に市民が立ち寄れる拠点があることで、市民、特に若い人たちが体験を通じてコミュニケーションについて理解をしているように感じました。

地の利を生かした「あわじメガソーラー」

エネルギー政策の主体は国であるが、意識改革でまちの活力につなげることには一定の役割を果たしているとのことでした。地の利をPRしながら、行政としてどう取り組むかという考え方は参考になりました。

職員も一歩踏み出す「ワンステップアクション」

核となる人を育成していくことから始めて、大学教授、専門家等を招いて、リーダーの育成講座を来年から行っていくとのことでした。

また市職員にも「ワンステップアクション」—今より一歩踏み出そう—を合言葉に、地域に根ざすことを積極的に呼びかけ、地域活動に従事することによって、その地域の悩みなどを理解し、行政マンとして行政に生かすことに力を注いでいます。

市にとって今後のコミュニティ活動のあり方など、大変参考になりました。



▲淡路市にて

▼尾道市にて



QUESTION

一般質問

一般質問

新生クラブ 垣見 信夫

宇佐美教育長の退任にあたり

質問

永きにわたり教育に携わってこられ、「教育とは」と問われたら何と答えられるか。

教育長

教育は一人一人の子どもの心に食い入ることが大切。情報化社会における将来の教育は取捨選択が重要になってくる。物質的には恵まれて、経済至上主義の社会ではあるが一番は心の教育が大切である。知・徳・体と言われているが、徳が一番、2番が体、3番が確かな学力ではないか。

家庭の問題も多く学校現場であらわれている。子どもは失敗をするのが普通なので、そこからいいこと悪いことを教えながら、心の豊かな人間を育てていきたい。学校教育は集団生活であり、いさかいやトラブルもある。集団でいるような経験をし、子どもは育っていく。そして、精神的にも肉体的にも徐々に成長



ついでにほし。

斎場の一時休止について

質問

斎場の業務を一時休止する。煙と悪臭が立ち込め、住民から強い改善要望があり、改善工事が4・60万円と高い金額で行われたが、一向に改善されなかったその原因と責任の所在は。又、今後の業務再開については。

市長

十分責任を感じている。責任の取り方については、しかるべき時期に過去の事例も参考に、議会にも相談して判断する。

生活産業部長

平成22年7月に①黒煙がほぼ100%解消、②同一敷地内での排煙処理装置の設置、③火葬業務を休止することなく工事ができることを基本方針として、山崎金属(株)の特許製品なら、この3つの基本方針をクリアできると判断した。しかしながら装置設置後も黒煙や悪臭は解消されなかったため業務停止をした。今は深く反省しており、私どもの責任と考えている。今後の火葬業務については、公衆衛生を維持する上でも重要で必要不可欠な施設であると考えている。再開に向けて根本的な解決を図り、再整備に全力で取り組んでいく。

充分検討されたのか新調理場建設

質問

6月議会市長答弁で「課題が浮き彫りになったので内部で検討する」とのことであった。浸水リスクについて現在の曉中の校舎は、グラウンドより約2mかさ上げし建設されている。なぜ東日本大震災の教訓を生かし、曉中の新調理場をかさ上げしないのか。市のハザードマップは、木曾川や日光川の堤防が破壊することを前提に作成されているように、最悪のシナリオを想定し、建設すべきでは。

教育委員会事務局長

沿岸部の防潮堤が機能すれば、市内の浸水リスクはないとの被害予測。曉中は18cm盛り土して浸水対策とする。

市長

堤防の破壊リスクが、一番きついと思っている。日光川の防波堤もしつかりやった。今後関係機関と連携し最善を尽くしたい。

質問

神守中の新調理場建設にあたり隣接する井戸水源の正式な調査を再三要求しているが実施したのか。また、当初より建設予定地を井戸水源に近い北へ移設させたのは事実か。

教育委員会事務局長

井戸水源の正式な調査は行っていない。また建設予定地を進入路の関係で北へ移動させたのは事実。

防災拠点の別棟庁舎これだけのいのか

質問

なぜ10億円もかけ今建設するのか、他の公共施設で代替できないのか、市役所は海抜マイナスイ・1m、例えば総合保健福祉センターは、海抜プラス0・7m、その差は約1・8mで背丈ほど浸水リスクが低減される。防災拠点として本当にふさわしい立地か。

総務部長

他の公共施設には災害時用の通信設備や市民の各種データがない。市民の救助や安否確認に即応するため、庁舎の隣に別棟を建て防災拠点とする。

青塚駅の自転車置場移転に問題あり

質問

4月より青塚駅自転車置場が駅より大幅に遠くなり、利用者も大幅に減り市民サービスが低下した。改善するべきとの市民の声に市はどの向き合おうか。

市長

今の公共の持ち物を有効利用することで、最善を尽くした公共投資だったと理解している。

通学路へのカラー舗装

質問

県道一宮弥富線の双葉幼稚園の前の交差点から南下し、スギ薬局の前にある交差点までの約1kmほどの区間は、事故が起こる前になんとかしてほしいとの要望が多い場所である。

まず、緊急的に通学路の部分だけでも、路側帯の部分を緑色に塗装をするなど対策をとれないか。

建設部長

通学路への緑のカラー舗装は、安全対策として大変有効だと考えている。

この区間の一部は、通学路になっていることもあり、交通安全対策を具体的に進めていく。

教育行政について

質問

いじめにより生徒が自ら命を絶つなど、痛ましい事件が相次いでいる。いじめの質もこれまで多かつた悪口や嫌がらせに加え、インターネットを利用するネットいじめも見受けられる。市におけるいじめの現状は。

教育委員会事務局長

中学校から報告があったものが2件、中学生の保護者から教育委員会へ電話

相談が1件あった。

質問

いじめに対する声を吸い上げる取り組みが甘いのではないかと。早期発見・対応するために、ここにもっと力をいれるべき。

教育委員会事務局長

各小・中学校へ周知用シールや県の24時間いじめ電話相談の案内チラシの配布を行っている。

質問

スクールカウンセラーを配置した学校では大きな成果を上げている。更なる拡充をお願いしたい。

教育委員会事務局長

スクールカウンセラーは児童生徒や保護者、教員の心理的な相談に対応し、中学校で週1日、小学校では月に1回訪問されている。1日でも配置が多くなればと考えている。





## 一般質問

改革クラブ 東 国伸

### 市民の安心安全を確保するために

質問

町内組織へのAED設置費用の補助金制度の適用について市長の考えは。

市長

AEDの設置には、町内会への業務助成金を活用していただきたい。

質問

公設及び民間で市内に設置のAEDの利用状況についてはいかがか。

消防長

今年8月まで5件、年々増える傾向にある。

質問

AED設置普及促進のため、企業やコンビニ、自治会等への設置協力要請及び地域や団体等のイベント開催時にAEDを貸し出す事業についてはどうか。

健康つしま推進担当

未設置のコンビニ、企業に対し設置啓発に取り組み。貸出しは、条件や対象イベントの実態等も含め検討する。

質問

AED設置箇所の市民への情報提供、心肺蘇生法やAEDの使い方の方の再講習

を定期的に開催、受講証明書の書きかえの実施については。

消防長

情報提供はホームページや講習会及びイベントの開催時等に設置場所の一覧を市民に対して周知を行う。講習会は23年度延べ18回、受講者210名に受講いただいた。再講習については、講習会終了時に2年後の再講習の必要性について説明し、積極的に進めたい。

質問

空き家が適正管理されず、付近の住民に迷惑や危険を及ぼす恐れのある家は市内にあるのか、市民からの相談と対応は。立入調査、指導、勧告の出来る「空き家適正管理条例」を制定すべきと考えるがいかがか。

建設部長

放置された空き家の軒数は把握していないが、相談は年4、5件、対応は敷地の外から目視による調査、所有者、管理者を特定し、訪問による改善指導や書面や電話にて連絡している。

鈴木副市長

空き家の適正管理については、先進地の条例もあることから、実情を勉強し地域の方々にも調査の方法など相談し考えていきたい。



公明党つしま 森口 達也

### 電力購入で経費削減を

質問

特定規模電気事業者(PPS)から電気を購入できるようになったが、市内各施設で経費削減のために、早急にPPSに切り替える検討をしようか。

市長公室長

施設の利用形態や電気の安定供給の観点を考慮して、施設を管理する部署や指定管理者と協議して、導入するかどうかを検討する。

総務部長

総合的に勘案して、効果があるようなら関係各課に導入を検討するよう指示する。

市民病院事務局長

電力の安定供給が一番大切であるとの側面があるので、コスト面だけでなく、安全性、信頼性などを含めて総合的に調査・研究していきたい。

### 業務継続計画(BCCP)の導入を

質問

大規模な災害や不測の事態が発生しても、重要な業務を早急に復旧し、継続できる体制を整えるために策定されるものであるが、行政としての導入はどの

ように考え、進めていくのか。

市民協働部長

BCCPは地域防災計画の一環として、初動マニュアルとともに整備していきたい。策定は平成25年度の後半に予定している。

質問

民間企業への周知はどのように徹底するののか。

生活産業部長

商工会議所と協議し、国や県が主催するセミナーの紹介などにより周知を図っていきたい。

### 障がい者就労支援の工賃向上を

質問

工賃向上計画に基づいた方策と、現状の障がい者の就労支援状況はどうなっているか。

健康福祉部長

藤まつり期間中の11日間に、障がい者自立支援協議会のブースにて自主製商品を販売させていただいた。参加事業所は7事業所、売上金は約25万円ほどあった。今年度もたばこ販売協同組合からアイロンビーズを3000個、約15万円の発注をいただいた。

## QUESTION

無会派 小山 高史

## 伊藤文郎市長への問責決議を提出へ

## 質問

私は、「問責決議案(3、4頁参照)」の提出を明言しているが、提出予定は、議会最終日。9月27日に出す予定。タイムリミットは9月27日。それまでに、市長の心変わりがあり、最終口までに条例改正案等として「子ども医療費」の拡大の議案が出されれば、当然「問責決議案」は引込めるが、市長は現時点でその可能性はあるか。

## 市長

考えてはいない。問責が可決されれば、議会運営ができないので、辞職するより仕方がないと考えている。それぐらい重大な案件である。提案される方も出処進退を賭して提案されるべき。

## 質問

進退をかける。それは市長が勝手に言っていること、私は挑発に乗らずに淡々と明言したことを行っていく。

また、市長は学校のいじめについての関連質問の答弁で、「私も議会でいじめられている」と発言をした。本気なのかジョークなのか。ここは議場であって、居酒屋ではない。市長あなたは、市のトップなのだから、もっとしっかりしてほしい。いじめられているのはあなたではなく、子ども医療費無料化の拡大を筆頭

に福祉の切り捨てをされている市民である。市長は誰にいじめられているのか。市民は誰にいじめられているのか。この状況であれば、問責決議は出さざるを得ない。

## 市長

関連質問で私が発言したのは、議会へ要望もしているが、私にも反問権を頂きたいということ。反問権もなく一方的に私だけ受けるというのは、いじめではないかと申し上げている。

## 10億円の防災庁舎の建設中止を

## 質問

市長は市役所の隣へ10億円の施設を建設するにあたって、今後市民への説明を行っているのか。

## 市長

当然説明をしなければならぬと思っている。災害はないにこしたことはないが、準備をしなければならぬ。神頼みかもしれないが、最大限の努力を払わなければいけない。前の市長さんから検討されてきた問題だが、たまたま今つくらなければいけない時期に来た。幸か不幸かわからない。決して私もやりたくてやっているわけではないが、いつの時も諦めることなく全力で対処していくことが私の使命だと思っている。

改革クラブ 後藤 敏夫

## 下水道と都市計画税に関する件

## 質問

都市計画税と下水道整備の関係及び下水道整備の状況と進め方を問う。

## 総務部長

下水道整備は固定資産税の路線価を計算する際に考慮する要因の一つ。下水道が整備されれば資産価値は上がるが、税金がその上昇分上がるわけではない。

## 上下水道部長

市街化区域666ha、市街化調整区域664haを全体計画区域とし、平成23年度末には330haを整備完了し、供用開始している。進捗率は25%。市街化区域を優先して進めている。事業認可期間は平成26年度末までで、完了しない場合は期間延長する。

## 市税等の滞納に関する件

## 質問

愛知県西尾尾張滞納整理機構への引き継ぎと状況を問う。

## 債権回収プロジェクトチーム担当

再三の催告を行っても納税相談に応じない方、約束を守らない方などに事前に予告書を送付し、相談に応じない

方を引き継ぐもの。平成23年は73件、本年度は53件、徴収率は38%強である。期間は原則1年であるが協議によって延長もある。

## 教育に関する件

## 質問

県の学力は全国学習状況調査で全国平均より低かった。目的、また市の取り組み及び少人数学級の見解を問う。

## 教育長

順位を争うのではなく、全国の児童・生徒の学力や学習状況を把握、教育の施策に国が当たる。市は平成22年以来抽出されていない。独自で小6、中3で20くらい状況調査を行っている。少人数学級は、子どもと向き合うメリットはあるが、学級全体の活動が出来なくなるので35人が適当と思う。

## 質問

協働のまちづくりの基本方針策定に対して市長の見解を問う。

## 市長

誰もが生き生きと暮らして、住みよいまちづくりを目指している。「コミュニティ団体、各市民活動団体と行政が地域の課題について一緒に考え、行動、解決していく姿勢が大事である。公の施設の活用については、地域の皆様の意見を聞き、当市の身の丈にあったまちづくりをしたい。



## 一般質問

日本共産党議員団 伊藤 恵子

### いじめ問題に対応する教育環境を

#### 質問

いじめ解決を阻害している原因に、教員評価制度や教員の多忙化が指摘されている。市で教員の増員などの考えはないか。子どもの権利条約12条(意思表明)を重視される取り組みを。

#### 教育長

教員の増員は厳しい財政下で容易ではない。相談体制の充実、警察や教育委員会との連携の強化等、国の方針等を参考にしながら取り組んでいきたい。

### 医療費無料化制度の維持・拡大を

#### 質問

愛知県では、子どもや障がい者などの医療費無料化制度の縮小や一部負担金の導入などの素案が出されている。福祉施策の大きな柱となっている制度の維持・存続・拡大を求めたい。

#### 鈴木副市長

現在の制度が維持されるよう、他市町村と歩調を合わせて、市長会や県市懇談会等で要望している。

### ゴミ置き場のカラス対策を

#### 質問

杉並区などで、特殊配合したゴミ袋

が効果をあげているとのことであるが、検討したことがあるか。市がカラス対策をすることにより、ゴミ出しマナーの啓発を行うという姿勢が必要では。

#### 生活産業部長

環境事務組合で検討したことがあるが、各市町村の足並みがそろわなかった。市独自の購入は現在考えていない。町内会より申し出があれば、ごみ散乱防止用のネットを無料貸与している。

### 消費税増税が医療環境を加速する

#### 質問

高度の公共性をもつこの観点から、医療費は非課税とされているが、設備投資や物品購入の際には消費税がかかり、増税となっている。増税により市民病院にはどの程度影響があるのか。

市長は、中医協の消費税増税に関する分科会の委員となられたが、どのようなことが検討されているのか。医療費はゼロ税率を求めたい。

#### 市民病院事務局長

10%になれば、約3億400万円の負担になると想定している。病院経営にとって非常に厳しいものとなる。

#### 市長

特に高額投資について調査している。ゼロ税率も議論されている。

日本共産党議員団 杉山 良介

### 原発ゼロをめざす民意への対応は

#### 質問

原発ゼロの世論の高まりの中で、エネルギー政策のあり方について地方自治体としても、自然エネルギーの地産地消について考えていくことが大切ではないか。

#### 生活産業部長

生活から切り離せない私たちの身近なエネルギー問題は、国に任せるのではなく、住民の安全・安心を守った上で成り立つエネルギーをどう確保するのか、みんなで作る時代になったと認識している。

### 地域防災計画のあり方について

#### 質問

国の中央防災会議の発表を受けて、新たに防災に関する検討会を設置されることであるが、そこでは何を中心として議論されていくのか。

#### 市民協働部長

地域防災計画の見直し検討会では、現在の計画に足りないもの、追加した方がよいものについて検討していく。

具体的には、液状化対策や都市計画の観点から見た防災対策などを検討する予定である。

### 市の公共施設の見直し

#### 質問

公共施設の再構築案が出され、その中で中央公民館は取り壊すという方向が出されている。そこに入っている学童クラブを始めとした公民館活動はどのようになるのか。

#### 総務部長

中央公民館は、現在別館を放課後児童クラブとして活用しているが、施設を取り壊すまでには他施設への移転を検討する。跡地利用としては、天王川公園にふさわしい施設を検討したい。

#### 質問

青池のところにある老人福祉センターは廃止し、他の用途に変更することであるが、なぜこの入浴機能を含めた施設の廃止を打ち出したのか。

#### 総務部長

老人福祉センターについては、ある意味で高齢者の囲い込みにつながっていることから、今後は年齢制限を廃止した地域に開かれた施設としていくべきと考えている。入浴機能については、市内で唯一天然温泉を供する神島田祖父母の家を新たな施設に対応する施設に改修後、統合する予定である。

## QUESTION

青風会 山田 真功

## 名古屋西流通センターの活性化策

質問

名古屋西流通センターは農産物を扱う施設なので、植物工場を併設し販売・研究してはどうか。

市長

企業誘致に関しては、業者に促わることなく、また、農業関係の植物工場等々も誘致の対象に入ってくる。

質問

植物工場で薬草を栽培して、流通センターの近くの医薬品会社と共同で津島ブランドの健康食品や漢方の製品開発をしてはどうか。

生活産業部長

企業が主体的に企画するのであれば、一考の余地もある。

質問

流通センターに道の駅のような売店を設けて、生産・加工・流通・販売までの一連した事業を進めてはどうか。

生活産業部長

既存の施設も老朽化しているので、集約化を考え新しい施設をつくる場合には提案を流通センターに伝える。

## 一般質問

質問

市場内の食材を利用した飲食店、バーベキュー場などを開設しては。

生活産業部長

市場の食材を利用した飲食店を行う計画がある場合は提案を伝える。

質問

買い物難民(買い物に行けない方)のために市場に仕入れにくる八百屋が拠点になり注文された商品を売る「買い物宅配サービス」を行ってはどうか。

生活産業部長

商店の売り上げ向上、高齢者の方々への配慮となる非常に有効な活性化策と考えられる。

## 国民健康保険の運営について

質問

ジェネリック医薬品に100%切り替えると削減金額はいくらか。呉市のようにジェネリック医薬品差額通知サービス、生駒市のように保険証にジェネリック医薬品希望シールを貼る取り組みをしてはどうか。

健康福祉部長

年間9600万円削減できる。差額通知も効果があったと聞いている。生駒市でもシールを貼る方が増え好評であった。実施に向け検討していきたい。

青風会 大鹿 一八

## 津島市の救急体制について

質問

救急車の現場到着から医療機関への搬送時間はどのくらいかかるのか。

消防長

津島市の救急車が現場に到着する時間は平均約7分。通報から病院に到着するまで、平成23年は約33分かかっており、全国的に救急車の病院到着時間が遅くなっている。

救急体制の広域化が図られると、他の市町と隣接する地域への救急車の現場到着時間が約3分短縮となる。

質問

救急隊に市民病院以外の病院への搬送を希望することは可能か。

消防長

本人、家族の希望の病院がある場合は、その病院に優先して搬送している。

質問

休日や夜間、市民病院当直医師の配置体制はどうなっているか。

市民病院事務局長

内科系医師1名、外科系の医師1名と研修医2名の4名で当直体制を行っている。

## 生活弱者対策について

質問

無年金者で、生活保護を受けている人は何名いるか。

健康福祉部長

60才以上の被保護者は243名で、そのうち年金を受給していない人は82名いる。

質問

生活保護の打ち切りや、見直しはどのようにしているか。

健康福祉部長

就労支援員を活用して、求人情報の提供やハローワークへの同行などにより就労し、最低生活費より収入が上回り、自立して生活できれば生活保護廃止としている。

## 住民の参加できる防犯対策について

質問

夜間に、1軒の家に1つ電灯を余分に点けてもらう運動は有効と思うが。

市民協働部長

1戸1灯運動に協力いただけるよう、各関係機関や地域コミュニティなどに呼びかけていきたい。

# 主な議会報告

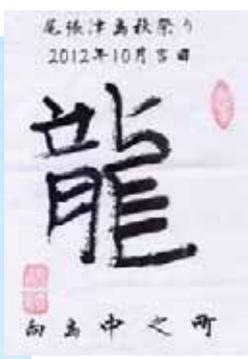
8月	9月	10月
1日・2日 文教建設委員会 行政調査視察	3日～27日 第3回定例会	4日 議会だより編集委員会
9日 議会改革協議会	3日 本会議	15日 決算審査(厚生病院)
24日 議会改革協議会	10日 一般質問	16日 決算審査(文教建設)
28日 議会運営委員会	11日 一般質問	17日 議会だより編集委員会
	13日 厚生病院委員会	18日 議会改革協議会
	14日 文教建設委員会	22日 決算審査(総務協働)
	18日 総務協働委員会	23日 議会だより編集委員会
	26日 議会だより編集委員会	26日 決算審査(各特別会計)
	27日 本会議	29日 決算審査(病院・上下水道)
		30日 議会改革協議会

平成24年第4回定例会は11月27日(火)～12月25日(火)までの開催予定です。  
議会の傍聴にぜひお出かけください。

- ★本会議は午前9時から開催します。
- ★日程は、変更になる場合があります。
- ★詳しくは議会事務局へお問い合わせください。



▲秋まつり 向島中之町の文字車



▲唐子の実筆

☆11月27日(火) 本会議
☆12月 6日(木) 一般質問
☆12月 7日(金) 一般質問
12月10日(月) 厚生病院委員会
12月11日(火) 文教建設委員会
12月12日(水) 総務協働委員会
☆12月25日(火) 本会議

☆のついた日は、クローバーTVの中継を予定しています。

次号は、2月に発行予定

9月28日、津島市制65周年記念事業としてNHKラジオ「歌の散歩道」の公開録音がされ、藤まつり、天王まつり、秋まつりなどが紹介されました。

秋冷が爽快に感じられる、いい季節を迎え、各校区では、コミニティ推進協議会が中心となり、様々な催しが開催されています。市民の皆さんとの交流が深まればと思います。

議会だよりも、第13回の発行となります。発行日が近づくにつれ、編集委員会もあわただしくなり、編集委員は、それぞれ担当分野に忙しく動き回っております。今後も、市民の皆さんに、よい声が届くような紙面づくりに努めていきます。

**議会だより編集委員会**

◎伊藤恵子                   ○森口達也  
 西山良夫                   宇藤久子  
 日比一昭                   加藤哲司  
 山田真功                   小山高史

◎委員長                   ○副委員長